※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２６

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新数学Ⅱ（数研出版）						
副教材等	3ROUND 数学Ｂ（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまで学んできた数学の知識に加え、新たな知識を用いて問題解決をしていきますので、授業中の取り組みに加え、授業の復習もしっかりと行うことが大切です。
２学期以降は統計学の内容を扱うため、Chromebook を用いて問題解決していきますので、タイピングなどの練習を予めしましょう。

２　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)　数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
(2)　離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
(3)　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	数列	1. 数列とその和	a:等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。 b:事象から離散的な変化を見いだし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 c:数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする。 　等差数列や等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、それぞれの和の公式を導こうする。	・副読本の問題のチェック ・小テスト ・定期考査 ・授業態度等 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・定期考査 ・授業態度等 ・パフォーマンス課題	・課題の提出状況 ・授業態度等 ・パフォーマンス課題 ・自己評価
2	数列	2 漸化式と数学的帰納法	a:漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。 b:自然数の性質などを見いだし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 c:数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。	・副読本の問題のチェック ・小テスト ・定期考査 ・授業態度等 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・定期考査 ・授業態度等 ・パフォーマンス課題	・課題の提出状況 ・授業態度等 ・パフォーマンス課題 ・自己評価

※令和４年度以降入学生用

2	統計的な推測	1. 確率分布	a:確率変数と確率分布について理解することができる。 　二項分布と正規分布の性質や特徴について理解することができる。 b:確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。 c:確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることのよさに気づき、確率分布について積極的に考察しようとする。 　二項分布に興味・関心をもち、さいころを投げるなどの具体的事項について考察しようとする。	・副読本の問題のチェック ・小テスト ・定期考査 ・授業態度等 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・定期考査 ・授業態度等 ・パフォーマンス課題	・課題の提出状況 ・授業態度等 ・パフォーマンス課題 ・自己評価
3	統計的な推測	2. 統計的な推測	a:正規分布を用いた区間推定及び仮設検定の方法を理解することができる。 b:目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。 c:連続的な確率変数である正規分布について積極的に考察しようする。	・副読本の問題のチェック ・小テスト ・定期考査 ・授業態度等 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・定期考査 ・授業態度等 ・パフォーマンス課題	・課題の提出状況 授業見学・研究授業6/5～6/23・授業態度等 ・パフォーマンス課題 ・自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度